

産業
情報

いわて

Industry
Information
Iwate

2020.12

VOL. 206

[公財]いわて産業振興センター広報誌

特集／キラリ輝く★いわての企業

有限会社光成工業

ロボットで自動化推進中

鉄のもののづくり会社

IWATE FOOD&CRAFT AWARD 2020

受賞商品のご紹介／6

「JFW JAPAN CREATION 2021」への出展／8

岩手イノベーションベース「動画編集講座」の開催／8

半導体人材育成のための設備保全研修セミナー／8

半導体関連立地企業とI-SEP会員企業との
ビジネス交流会／8



敷地には4つの工場があり、現在5つ目の工場を建設中



ファイバーレーザー加工機はメーカーと常にオンラインでつながっている。24時間動くこの機械の稼働率は全国でも30番目に入っている

ロボットで自動化推進中 鉄のものづくり会社

一関市／有限会社光成工業

鉄のオーダーメイド

光成工業は、一関市生まれの先代社長が昭和42年横浜市で創業した。地元岩手を離れ、就職してくる社員の「働くところがあれば地元で働きたい」の言葉から、平泉町に工場を建てた。その後、一関市に本社機能をし現在の形になっている。同社は、設計・材料調達・最終工程まで自社内で行う、完全受注生産のものづくり会社だ。

金属を加工して、流通用のパレットや製品保管用のラックを製造してき

た。なかでも冷凍倉庫用に表面亜鉛処理鋼板を用いたパレットや原発の除染で出た廃棄物を中間保管する際に使用される保管用コンテナ、近年は地元へ増えた自動車関連会社で使用される専用パレット等にも力を入れている。また、パレット以外のもう一つの柱としてユニットハウスの製造も手がけている。

「当社の強みは材料集めからの一貫生産です」と村上耕一社長は語る。製品はお客さまのオーダーメイド。金属プレス、溶接、塗装全般の技術を駆

使し、製品を生産している。一貫生産だからこそ、部材の調達やコスト、納期が管理でき、お客さまの要望に応えることができる。

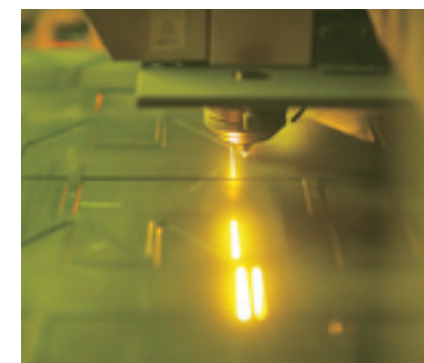


設備貸与制度を活用したバンドソーで高精度高速自動切断が可能になり生産性も向上

自動化によるパレット生産

溶接の自動化は製造業では当たり前になっているが、国内でパレットの溶接にロボットを使っているところは少ないという。生産ロットが少なく効率が悪いというのが大きな理由だが、溶接の前工程にあたる加工の精度がロボット化には求められるためでもある。その精度を上げるためにい

わて産業振興センターの設備貸与制度を利用して、パイプなどをカットするCNC形鋼切断用バンドソーや鉄板を切るシャーリングといった機械を導入した。「ロボットで溶接することにより生産性が上がるだけではなく、かなり品質もよくなった」と村上社長は品質向上のメリットも語る。今後も全体的な自動化を図っていくという。



細部が細やかなものまで無人のままレーザーがカットしていく

中小企業も積極的設備投資を

新しい設備の導入により、それまでのつくり方や設計まで変わってきている。同社の最新鋭の設備は6キロのファイバーレーザー加工機。これまでも4キロのCO₂レーザー加工機を使用していたのだが、生産性が格段に上がり、そして今まで出来なかったものがつくれるようになった。

「この機械は価格は高いが、本当にすごい機械です。なによりいいのは、コモディティ化されていないことです。だから、加工単価が高く設定でき



曲げ加工のベンダーもタッチパネル式。若手も外国人実習生も扱いやすい



1 人による溶接の出番も多い。来年はこの技術を生かし、一般人が溶接体験できる仕組みをプラン中
2 いわて産業振興センターの設備貸与制度を利用し、粉体ラインの吊り下げ治具を改善。従来より重量物の吊り下げが可能となり生産性が向上した
3 1t仕様のポジショナーとの連動により大型製品の自動溶接も可能 4 自動車関連パレットも各種製造



減価償却も早い。だから、中小企業といえども、新しい機械に対する設備投資はどんどんやっていくべきだと思います」と村上社長は主張する。

社員が自主的に動くグループ活動

自動化とともに人材育成にも力を注ぐ。面白い取り組みとして、光成工業では2か月に一度、生産活動を一切しない「NGD(ノー現場デー)」を設けている。全社員が作業の手を止め、一日をかけて「ものづくり競技大会」「ゼロ災害大会」「環境整備の大会」や「スポーツ大会」などを社内で開催している。

そのNGDを企画するのが社内に5つある活動グループである。毎週月曜日には、就業時間の中から2時間を

使い、それぞれの活動が行われる。そして、その集大成がNGDとなる。また、このグループやそれぞれの職場などの親睦が図られるよう、食事会・飲み会といったものに補助金も出されている。「OJTやOFJTが縦の糸だとすると、これらの仕組みがうちの人材育成の横の糸になっている」と村上社長は話す。

新工場の新しい夢

村上社長は一関青年会議所理事長、一関商工会議所青年部会長なども務め、地域の活性化に取り組んできた。自ら一関市のタウン誌を創刊して発刊、コミュニティラジオの創設にも関わるなどして初代社長を務めた。

新しいもの、おもしろいことに、果敢に取り組むのが社長のスタイルだ。

そんな社長の新しい計画が、増設中の第5工場にある。新工場の一部を中二階とし展開する「溶接のテーマパーク」だ。来場者が溶接を体験できるスペースで、DIY好きや子どもが夏休みの工作づくりに活用して楽しい経験をする。それが強いては業界に興味を持ち、将来的に人材確保につながることも視野にしている。現在、採用ブランディングチームの立ち上げを計画している。若手を採用しながら、会社の未来像を描いていく。

>> 技術ポイント



自動車産業用パレット

お客様のニーズに合わせて製作するパレット

定番のすのこのような板状のものから、荷物を支えるためのサポート部分がついたものなど多彩。自動車関連企業などの個別のパーツに合わせた移動用の容器など、さまざまなニーズに応えている。

メーカーのOEM対応ユニットハウス

現在、5社のメーカーよりOEMでのユニットハウスの製作を受けている。一般的なプレハブからノックダウン型の本格的なものまで対応しており、工場の手前にあるフィリピン人実習生の寮も自社製である。



自社製作した実習生寮

代表メッセージ



村上 耕一

>代表プロフィール
平泉町出身、趣味は読書。
5歳と3歳になる二人の子どもと遊ぶのが休日の過ごし方。

私が先代社長から聞いた創業の目的は、地元の人の働く場所の確保でした。その幅を女性や高齢者そして障がい者まで広げてきたつもりです。これからも、その幅を広げていきたいと思っています。特に男性の育児参加や、老々介護と言われる高齢者による介護の応援などを積極的に進めたい。そのためには労働時間短縮はもちろんのこと、労働時間の融通(例えば子どものスポーツの時間に、休まずに一時外出を認める)等の「融通労働」の導入を現在考えています。

企業DATA

会社名 有限会社 光成工業
代表者 村上 耕一
業種 金属製品製造業
工場 岩手県一関市萩荘字霜後241
電話 0191-24-3211(代表)

沿革 昭和42年／創業(横浜市)
昭和54年／11月 会社設立(平泉町)
昭和59年／現在地に本社工場移転
平成2年／第二工場増設
平成8年／第三工場増設
平成24年／第四工場増設
令和元年／第五工場用地取得

従業員 92名
資本金 3000万円
URL <http://www.kohsei-l.co.jp/>
(メンテナンス中)



IWATE FOOD&CRAFT AWARD 2020 受賞商品のご紹介

岩手県及びいわての物産展等実行委員会では、販路開拓に意欲的に取り組む県内事業者による新商品等の開発を促進するとともに、これら商品等の普及を図り、県内外への販売拡大を促進するため、「IWATE FOOD&CRAFT AWARD 2020」を開催しました。厳選なる審査の結果受賞した商品をご紹介します。

フード部門



岩手短角和牛セシーナ
株式会社肉のふがね(岩手町)

日本在来種の南部牛をルーツに持つ「岩手短角和牛」と薪窯直煮製法で造られる野田村産海塩「のだ塩」のみを使用し、手間暇をかけ熟成させた牛肉の生ハム。味わいは、香り高く風味豊かであり、しっとりとした食感と短角牛の旨味が楽しめます。

●TEL: 0195-68-7383
●担当者: 府金伸治、金田一志保



弁慶のまゆ毛
有限会社千葉恵製菓(平泉町)

弁慶の眉毛をモチーフとした黒蜜味のフィナンシェ。しっかりとした黒蜜の味としっとりとした食感で、幅広い年代に好まれる商品です。キャッチーなコンセプトとそれを裏切らない味わいがあり、お土産物として秀逸です。

●TEL: 0191-46-2791
●担当者: 熊谷純



**洋野うに牧場の四年うに
UNI&岩手産バターSPREAD**
株式会社北三陸ファクトリー(洋野町)

洋野産のうにに岩手県産バターを合わせたスプレッド。丁寧に処理されたうにのコクと濃厚さがバターと絡み合い、今までに食したことのない新鮮味を感じられます。加工品というよりも「高級料理」であり、多くの人に味わってほしい逸品です。

●TEL: 0194-75-3548
●担当者: 城内望歩



ざるおぼろ豆腐 一世風靡
株式会社ふうせつ花(八幡平市)

豊かな甘さとコクに加え、わずかな渋味や、ほのかなニガリの風味も感じられる非常にバランスが良い「おぼろ豆腐」。厳選された大豆のクリーミーな食感と、まるで上品なデザートのような風味は食べる人に驚きと感動を与え、まさに一世を風靡する豆腐です。

●TEL: 0195-72-8008
●担当者: 石田秀悦

今年度はフード部門で59品(35事業者)、クラフト部門で52品(29事業者)からの応募があり、昨年度並みの開催となりました。

入賞特典として販促用の受賞シールを授与した他、グランプリ入賞には、商品PR動画の作成を行いました。今後物産展や商談会をとおし、販路拡大の支援を行っていきます。

●お問い合わせ いわての物産展等実行委員会事務局
TEL: 019-631-3823



授賞式の様子

クラフト部門



kanakeno 鉄瓶 あかいりんご
タヤマスタジオ株式会社(盛岡市)

全体のフォルムから柔らかさと可愛らしさを感じられる南部鉄瓶。伝統と現代性が調和したデザインは、鉄瓶=重いというイメージを払拭させ、思わず手に取りたくなるような親しみを与えます。行き届いたメンテナンスサービスも魅力の一つです。

●TEL: 019-691-9161
●担当者: 田山真祐



SACCORA signature Flat Bag
株式会社幸呼来Japan(盛岡市)

着物生地を使用した裂き織バッグ。裂き織作業を通じ、障害のある方の個性を生かしプレミアムなアップサイクル商品として仕上げています。伝統工芸に新しさを吹き込んだデザインであり、個性と色に魅せられ、持てみたいと思わせるバッグです。

●TEL: 019-681-9166
●担当者: 石頭悦



HERALBONY ART NECKTIE
株式会社ヘラルボニー(花巻市)

アートを単なる転写ではなく織物として表現したネクタイ。これまで限られていた知的障害のある方が描いたアートや創作表現を発表する場を新たに日常に見出し、なおかつ非常に高いクオリティで製品化しています。

●TEL: 090-2982-0358
●担当者: 松田文登



七輪囲炉裏
株式会社マルイ造形家具工業(九戸村)

外に運び出すことも可能にした組み立て式の七輪囲炉裏。「南部筆筒」作りで培った高度な指物技術が携帯しやすく分解可能な囲炉裏の開発に活かされており、昨今のアウトドアブームへの新たな可能性を感じる商品です。

●TEL: 0195-42-3031
●担当者: 千葉暢威

各部事業紹介 事業者様の取り組みをサポートします。

産業支援部

「JFW JAPAN CREATION 2021」への出展



県内アパレル関連企業の高い技術力を広くPRするため、11月18日～19日の2日間、東京国際フォーラムにて「JFW JAPAN CREATION 2021」に(一社)北いわてアパレル産業振興会17社が出展いたしました。今後も、県内企業の縫製技術の高さを積極的にPRするとともに、商談会の開催等により、メーカーや商社等との取引拡大への支援をしてまいります。

● お問い合わせ 生産技術革新担当
TEL : 019-631-3824

岩手イノベーションベース「動画編集講座」の開催



11月24日～26日の3日間、自社商品やサービスを効果的にPRする手法を低予算で展開するための一助となるよう、岩手イノベーションベースを会場として「動画編集講座」を開催しました。

今後も経営・ビジネススキルやICTスキルに関する講座を開催し、起業希望者や地域内企業等の成長を支援してまいります。

● お問い合わせ
地域産業・起業支援担当 TEL : 019-631-3823
岩手イノベーションベース TEL : 019-601-9512

ものづくり振興部

半導体人材育成のための設備保全研修セミナー



半導体関連の在職者のための設備保全に必要とされる電気と機械の知識や技術についての研修を11月9日～13日に北上市で開催しました。

企業様の人材育成のニーズに基づいたセミナー等を今後も行ってまいります。

● お問い合わせ 取引支援・産業集積担当
TEL : 019-631-3822

半導体関連立地企業とI-SEP会員企業とのビジネス交流会



発注ニーズがある半導体関連立地企業4社様と半導体関連産業への新規参入や更なる取引拡大を目指している企業様を対象として、ビジネス交流会を11月25日に北上市で開催しました。

今後も受発注取引の拡大に向けた取り組みを支援してまいります。

● お問い合わせ 取引支援・産業集積担当
TEL : 019-631-3822

